

地 域 再 生 計 画 書

1 地域再生計画の名称

『自然豊かなフルーツと伝説の里』づくり計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

長野県、長野市

3 地域再生計画の区域

長野市の区域の一部（旧豊野町地区及び旧鬼無里村地区）

4 地域再生計画の目標

平成17年1月1日、豊野町・戸隠村・鬼無里村・大岡村との合併により、新長野市がスタートした。新市が誕生してからは、「都市部と中山間地が共生する美しいまち」を大きな方針とし、都市部と中山間地が一つのまちとして、バランスのとれた発展が図れるようまちづくりに取り組んでいる。合併により多くの歴史・文化・自然などの貴重な資源を保有することになった。そこで、都市部のさらなる躍進と自然あふれる中山間地域の資源の保全や振興に向けた施策を通して「都市と自然が調和する多軸都市ながの」の創造に取り組んでいる。観光・スポーツ・自然など各地域の魅力を最大限に引き出し、補い合う「多軸型のまちづくり」を目指している。

計画区域である豊野地域は、長野市の北東に位置し、大半が鳥居川、浅川、千曲川の一級河川の沖積地上に形作られ、清らかな水と豊かな自然に恵まれた「りんごとぶどうの里」として果樹栽培を盛んに行っている地域である。その中で、近年は長野市中心市街地のベットタウンとしての性格も強くなり、今後は生活、文化、産業など都市機能を他地域とともに分担し、相互に補完しあう役割を担い、長野市の北の玄関口としてふさわしいまちづくりが期待されている。

また、鬼無里地域は、長野市の北西に位置し、「鬼無里」の名の由来とされる一夜山の麓に位置し、一部が上信越高原国立公園に指定され、水芭蕉で有名な奥裾花自然園や「鬼女紅葉伝説」ゆかりの地名やお寺・国の重要文化財である神社などを配し、また北アルプスや戸隠連山に囲まれ四季折々の変化と裾花川の源流をいただく美しい渓谷や名勝地が点在する、歴史と伝統そして風光明媚な自然の残る観光資源に恵まれた地域である。

しかし、両地域とも、ここ数年来農林業従事者の減少及び高齢化（特に若年層の減少）や過疎化による農地の遊休荒廃化並びに山林の荒廃化が進んでおり、農林業を取り巻く情勢は厳しさを増している。

このため、豊野地域では、今後恵まれた優良農地を活用した、りんご・ぶどうなどを主力とする個性ある農産地づくりや農産物及び広域農道等を活用した観光農業を促進し、農業と観光を結びつけた地域振興を推進することが重要と考えている。また、鬼無里地域では、今後地域を支える力となる若者など生産年齢層の定住を図ることが重要であり、居住のための諸条件整備が必要と考えている。

豊野地域では、農業と観光を結びつけた地域振興を推進するが、そのためには地域の主要道路となる国道県道への接続やりんご農園等の観光拠点施設へ接続する道路ネットワークの整備を進める必要がある。具体的には、観光客の当地域への往来を容易にするため、豊野地域と上信越自動車道信州中野インターとのアクセスが良好になるよう、広域農道を整備する。また、北信州を代表する観光地である善光寺や湯田中温泉郷、志賀高原等を結ぶ観光ルートの沿線となる立地条件を活かし、観光と自然、農業を結びつけた地域振興を図るため、地域の主要道路である国道18号、国道117号、主要地方道長野荒瀬原線を連結する。更に、北信五岳が一望できる景観、りんごや桃の花の咲く頃が特に美しい丹霞郷、北信濃有数のつつじの群生地として知られるつつじ山公園、農産物の直売も行っているりんごの湯等、これらの地域資源を活用した地域振興を図るため、広域農道と接続する市道を整備する。また、地域住民の生活環境の改善を図るとともに、農村地域と都市住民との交流を促進し、活力ある地域の再生を図るため、本市の農業地域と市街地を結ぶ主要な幹線道路であり、豊野支所・JR豊野駅へのアクセス道となっている市道を整備する。

一方の鬼無里地域では、居住のための諸条件整備を推進するが、そのためには国道へのアクセス道路や集落間を結ぶ道路、森林の整備を行うための道路の整備を進める必要がある。具体的には、手入れ不足となっている間伐等の森林整備を、高性能林業機械の導入により促進し、森林のもつ多面的機能の発揮につなげるとともに、樹齢300～400年のブナやトチの原生林に囲まれた湿原に約81万本が群生している奥裾花自然園、奥裾花キャンプ場、また毎年秋に行われる紅葉伝説にまつわる祭典などの施設や行事を通して、森林への親しみを増すことができるよう、各施設や行事へのアクセスを容易にするなどの利便性の向上を図るため、林道を整備する。また、交通の利便性・安全性を図り、産業経済の発展や中山間地域と都市住民との交流を活性化するとともに、文化の振興を図り、地域の情報発信などを進め、豊かな自然、文化的遺産、素朴な人情など山村ならではの良さを再認識し、活力ある地域の再生を図るため、国道・主要地方道を経由し鬼無里地区中心部及び長野市街地とを結ぶ重要な生活幹線道路であるとともに、名所である国の重要文化財「白髭神社」や奥裾花自然園な

どの観光アクセス道路であり、西は白馬方面へ通じる国道、東はそば・スキー場で有名な戸隠高原、市役所支所・学校へのアクセス道となっている市道を整備する。

(目標1) 農業の振興と果樹園を活かした観光農園の活性化

りんごの木のオーナー制度の契約本数増加

969本(H17年) 1,000本(H24年)

体験農業(りんご収穫)の参加者数増加

3,300人/年(H17年) 3,500人/年(H24年)

(目標2) 観光資源を活かした地域の活性化

りんごの湯農産物直売所の客数増加

19,000人/年(H17年) 20,000人/年(H24年)

奥裾花自然園(奥裾花キャンプ場含む)の入園者数増加

45,414人/年(H17年) 50,000人/年(H24年)

(国重要文化財)白髭神社参拝者数増加

6,081人/年(H17年) 6,500人/年(H24年)

(目標3) 広域農道・市道・林道整備による拠点施設へのアクセス改善

観光名所である丹霞郷への上信越自動車信州中野インターからの移動時間を15分短縮する。

観光名所である、奥裾花自然園・奥裾花キャンプ場への市街地からの移動時間を約15分短縮する。

5 目標を達成するために行う事業

5-1 全体の概要

豊野地域の営農団地における幹線農道の整備を図るとともに、当地域の主要道路である国道117号~国道18号~主要地方道長野荒瀬原線を結ぶ基幹道路を「広域営農団地農道整備事業(上水内北部地区豊野幹線)」で新設し、当地域の骨格となる道路網の整備を図るとともに、上信越自動車道信州中野インターから当地域へのアクセスの改善を図る。更に、広域農道から地域の観光拠点である丹霞郷、つつじ山公園、温泉施設(りんごの湯)、オーナー農園へのアクセスを良好にするため、「市道豊野平出線」、「市道豊野川谷善光寺街道線」、「豊野穂保線」を拡幅改良することにより効率的な道路ネットワークを構築し、観光と農業を結びつけた地域振興を活発化し地域再生を図る。

また、鬼無里地域の観光施設へのアクセスの改善を図るため、林道・市道一体的な道路整備により移動時間の短縮と通行の安全性を確保し、公共施設や観光施設への利

用者の利便性を図り、また林道大川線を利用した林業の活性化を図る。更に、市街地から地域の観光拠点である白髭神社（国重要文化財）、奥裾花自然園、奥裾花キャンプ場へのアクセスを良好にするため、「市道鬼無里日影線」「市道鬼無里裾花線」を拡幅改良することにより、効率的な道路ネットワークを構築し、観光と林業を結びつけた地域振興を活発化し地域再生を図る。

5 - 2 法第4章の特別の措置を適用して行う事業

道整備交付金を活用する事業

対象となる事業は、以下のとおり事業開始に係る手続き等を完了している。なお、整備箇所等については、別添の整備箇所を示した図面による。

「事業開始に係る手続き等」

広域営農団地農道整備事業	事業採択	平成4年4月9日
	事業計画の確定	平成4年11月13日
	最終計画変更確定	平成14年8月17日

市道認定年月日

豊野川谷善光寺街道線	昭和57年3月17日
豊野穂保線	昭和62年3月31日
豊野平出線	平成3年6月27日
鬼無里日影線	昭和50年3月31日
鬼無里裾花線	昭和50年3月31日

林道認定年月日

大川線	昭和50年3月31日
-----	------------

[施設の種類・（事業区域）・実施主体]

広域農道	・（長野市）	・長野県
市道	・（長野市）	・長野市
林道	・（長野市）	・長野市

[事業期間]

広域農道	（平成19年度～23年度）
市道	（平成19年度～23年度）
林道	（平成20年度～23年度）

[整備量及び事業費]

広域農道 L = 1,640m、市道 L = 6,950m、林道 L = 3,000m

総事業費 4,475,000千円(内交付金2,237,500千円)

(内訳) 広域農道 3,150,000千円(内交付金1,575,000千円)

市道 1,260,000千円(内交付金 630,000千円)

林道 65,000千円(内交付金 32,500千円)

5 - 3 その他の事業

りんごオーナー制度、農業体験(市、地域主体)

消費者が直接生産地へ訪れることにより、豊かな自然や新鮮な農産物をとおり、生産者と消費者が密着した農業振興を図る。また、農業体験を通じて農村と都市との交流を促進していく。

農産物直売

温泉施設である「りんごの湯」において地域で生産された農産物の直売を行う。

ソフト事業

地域活動や観光を促進するための地域イベントを実施していく。(市、地域主体)

- ・つつじ山まつり 毎年5月第2日曜に開催 参加者500~700人
神楽や獅子舞、豊野太鼓等の披露
- ・ヨイショコ祭り 毎年8月上旬に開催参加者8,000~10,000人
子供のりんごみこし、豊野音頭にあわせた流し踊り
花火大会
- ・奥裾花自然園開山祭と水芭蕉祭り
毎年5月2日に開催 参加者1,000人
安全祈願祭と神楽の奉納
- ・修学旅行によるブナの植林
毎年5月から随時 参加者5校600人
修学旅行生によるブナの苗木の植樹と自然観察会
- ・花菖蒲・ホタル祭り 毎年6月下旬から7月中旬 参加者延べ800人
白髭神社(国重要文化財)での花菖蒲とホタルの観察会
- ・親子仲良しふれあいキャンプ
毎年7月下旬の夏休み 参加親子20組80人
親子キャンプと作物の収穫体験
- ・鬼女紅葉祭り 毎年10月第1日曜に開催 参加者100人
鬼女紅葉供養祭鬼女紅葉太鼓の奉納

関連事業

- ・市道戸隠東線地方道整備臨時交付金事業 L = 1,659mの道路拡幅改良工事

関連施設

- ・奥裾花自然園　・奥裾花キャンプ場　・鬼無里ふるさと資料館
- ・松巖寺（紅葉伝説ゆかりの古刹）　・白髭神社（国重要文化財）

6 計画期間

平成19年度～23年度

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

4に示す地域再生計画の目標について、長野県、長野市が計画終了後に状況を把握・公表するとともに、達成状況の評価・改善すべき事項の検討等行う。

8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当なし